

此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、

此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、

此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、  
此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、  
此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、  
此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、  
此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、

此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、此の如くは、

(三)

無産政党合同ニ対スル態度決定ノ件 本部安示

先又 合同ハ地方支評ノ状勢ヲ主体シテ可能ナル範囲ヨリナスベシ

理由

無産階級ノ政治的進出ニ、当然強カナル競争ヲ必要トスル 現在  
於テノ無産党ハ分野ヲ見ルトキニ 日本大衆党 社会民衆党 労働  
党アリ 地方的ニハ又夫々ノ政党ノ対立ヲ見ル 立上ナル競争ニ必要ト  
スル現今ノ社会状況ニ於テ、清遠感ナル事デアル 両シテゴラヒ、対立ノ  
事實ハ簡単ナル事實デアリ、是ヲ以テ存在ノ價值ナシトスルハ早計デア  
ル 合同コソハ必要ナル緊急事デアルガ 又合同ニ際シテハ、最も重要  
ナル態度ト結果ヲ考慮シテテナラナイ 過去ノ合同ニ於ケル事想ハ、  
重要性ヲ更ニ深ク裏書スルモデアル 吾々ハ此ノ状勢ノ下ニ飽ク、合同  
ニ依リカ、増大ヲ信ジ、是ニ向テ努力シテハナラナイ  
然ラバ、過激ノ全合同ニ対シ、吾々ハ如何ニ是ヲ認識スルカ

一、今近ノ各党対立ハ夫々自党ノ主義 主張ニ明確ナル信頼ノ下ニ存在  
スルコトガ主ニシテ 情実的事情ニヨリ対立ハ極メテ微少デアル